

AICA

土木建築用補強材

JOLY SEAL

鋼板補強用注入接着エポキシ樹脂

ジョリシール JB-3J

湿潤コンクリートに接着可能

ジョリシールJB-3J (W) は、土木建築用途に開発された常温硬化型エポキシ樹脂です。特に鋼板巻立て補強・床版補強・増桁補強用グラウト材に抜群の効果を発揮します。

用途

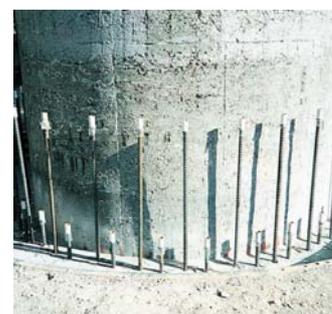
- 鋼板巻立て・床版補強用注入材として。
- ひび割れ注入材として。
- アンカーボルト・差筋等の定着用充てん材として。

特徴

- 湿潤したコンクリートにも接着性がすぐれている。
- 接着性に優れる。コンクリート・金属等の接着性が優れている。
- 機械的強度に優れる。圧縮・曲げ・引張り・引張剪断・衝撃強度に優れる。
- 低粘度で作業性が良い。
- 可使時間が長く、多量の注入作業に適する。

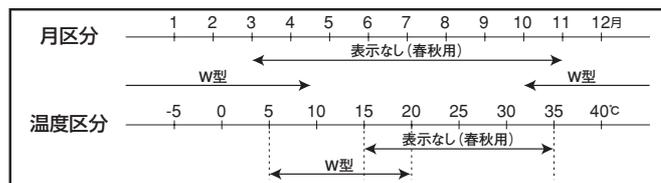


◆ 梱包容量 10kgセット (主剤:6.67kg、硬化剤:3.33kg)
P.Pバンド掛



◆性状

外観	主剤 硬化剤 混合物	淡黄色透明液体 褐色透明液体 淡褐色透明液体
主成分	主剤 硬化剤	エポキシ樹脂 変性脂環式ポリアミン
粘度	混合物	春秋型 2±1/20℃ Pa.S 冬型 (W) 2±1/20℃ Pa.S
配合比	主剤：硬化剤	2：1 (重量比)
可使時間	春秋型 冬型 (W)	60分/20℃以上 60分/10℃以上
硬化	春秋型/20℃ 冬型(W)/10℃	初期 完全 18時間 7日 20時間 7日
比重	硬化物	1.0~1.3

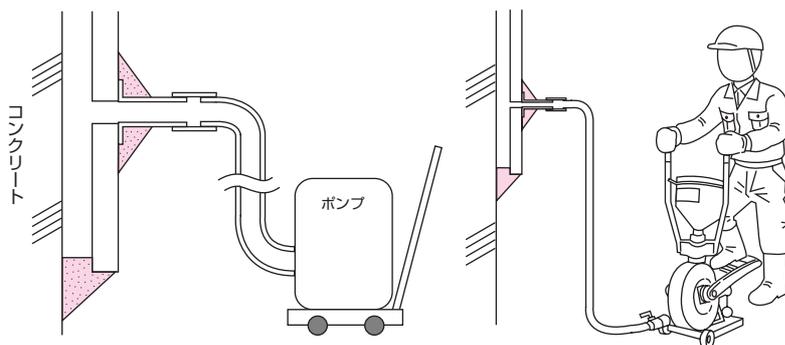


身近な暮らしに「化学」を生かす

AICA

◆施工方法

1. JB-3JをA/B=2/1で計量し、泡を混入しないようにゆっくり混合攪拌し、注入して下さい。又、混合したものは放置しないで早く使用して下さい。
2. 硬化養生中は過度の振動は避け、雨水等が直接あたらないように留意して下さい。



ジョリシールJB-3J (W) の品質

試験項目	試験方法	単位	春秋型JB-3J	20℃.7日間養生	冬型JB-3JW	20℃.7日間養生
			規格値	測定値	規格値	測定値
比重 (硬化物)	JIS K7112	—	1.0~1.3	1.16	1.0~1.3	1.16
可使時間	温度上昇法	分	60以上/20℃	71	60以上/10℃	73
粘度	JIS K6833	Pa.s	1.0~3.0/20℃	1.2	1.0~3.0/20℃	1.2
圧縮降伏強度	JIS K7181	N/mm ²	70以上	87.1	70以上	90.7
曲げ強度	JIS K7171	N/mm ²	50以上	80.6	50以上	73.4
引張強度	JIS K7161	N/mm ²	35以上	43.3	30以上	40.7
引張剪断付着強度	JIS K6850	N/mm ²	15以上	15.8	15以上	15.9
衝撃強度	JIS K7111	KJ/m ²	3.0以上	5.7	3.0以上	5.5
圧縮弾性係数	JIS K7181	N/mm ²	1500以上	2412	1500以上	2430
硬度	JIS K7215	HbD	80以上	81	80	82

安全上のご注意

1. 注意

- 1-1 作業前の確認
取扱い作業に際しては、説明書、製品安全データシート (MSDS) などで、注意事項を確認して下さい。
- 1-2 取扱い場所
(1) 火気のあるところでは、使用しないで下さい。
(2) 取扱い作業所には、局所排気装置を設けて下さい。
- 1-3 取扱い方法
(1) 取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、保護手袋、保護メガネ、前掛け等を着用して下さい。
(2) 容器からこぼれた場合には、布 (ウェス) で拭きとって、安全な場所に廃棄して下さい。
(3) 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- 1-4 応急措置
(1) 作業衣等に付着した場合には、その汚れをよく落として下さい。
(2) 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み、又は外観に変化がある時には、医師の診断を受けて下さい。
(3) 目に入った場合には、多量の水で洗い流し、早く医師の診断を受けて下さい。
(4) 蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
(5) 誤って飲み込んだ場合は、早く医師の診断を受けて下さい。
- 1-5 保管方法
(1) 密栓の上、危険物倉庫に保管するか、指定数量以下の場合は、火気のない5~35℃の直射日光の当たらない場所に保管して下さい。
(2) 子供の手の届かない所に保管して下さい。

- 1-6 注入接着用以外の使用禁止
(1) 本来の用途以外には、使用しないで下さい。
- 1-7 廃棄方法
(1) 河川等の環境中に投棄、及び漏出させないで下さい。
(2) 廃棄物の処理、及び清掃に関する法律、及び都道府県条例等に基づき、中身を使いきってから焼却するか、許可を受けた処理業者に委託して下さい。

2. 法規制

- (1) 消防法
A (主剤) ・ B (硬化剤) とともに下記の通りです。

火気厳禁
危険物第4類第3石油類
危険等級Ⅱ

- 改良のため、予告なく仕様及び価格を変更することがありますのでご了承ください。確認は最寄りの当社までお願いいたします。
- 荷受けの際、必ず破損の有無をご確認ください。万一破損している場合は、運送会社の証明をもらい、至急当社へご連絡ください。
(後日に発見された場合は、責を負いかねます。)
- 印刷物につき、商品写真と実物とは多少相違することがございます。
- 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄りの当社へお願いいたします。



ISO 9001 認証取得 JQA-2019
ISO 14001 認証取得 JQA-EM0513
OHSAS 18001適合 JQA-OH0017



アイカ工業株式会社

本社 / 愛知県清須市西堀江2288番地
 甚目寺工場 / 〒490-1112 愛知県海部郡甚目寺町上萱津深見24番地
 化成品カンパニー 営業部
 TEL (052) 445-6801 FAX (052) 445-6803
 ホームページアドレス / <http://www.aica.co.jp/>

■代理店

化成品・化粧板・住器建材・電子製品

札幌 ☎ (011) 811-9201 FAX (011) 812-2968
 仙台 ☎ (022) 232-3251 FAX (022) 235-1067
 北関東 ☎ (027) 322-8771 FAX (027) 327-2271
 東京 ☎ (03) 5912-2841 FAX (03) 5912-2847
 名古屋 ☎ (052) 331-4132 FAX (052) 331-4160
 大阪 ☎ (06) 6265-6813 FAX (06) 6265-6814
 広島 ☎ (082) 254-1311 FAX (082) 255-8817
 福岡 ☎ (092) 584-5080 FAX (092) 584-5091
 盛岡 ☎ (019) 653-5591 FAX (019) 653-5419

福島 ☎ (0248) 62-1321 FAX (0248) 62-1323
 柏 ☎ (04) 7141-5901 FAX (04) 7141-5902
 埼玉 ☎ (048) 601-2191 FAX (048) 601-2190
 千葉 ☎ (043) 241-2181 FAX (043) 241-2185
 横浜 ☎ (045) 640-1081 FAX (045) 640-1087
 宇都宮 ☎ (028) 627-7521 FAX (028) 627-7639
 松本 ☎ (0263) 33-1321 FAX (0263) 33-1325
 新潟 ☎ (025) 245-8596 FAX (025) 245-8597
 静岡 ☎ (054) 286-0451 FAX (054) 286-0453

金沢 ☎ (076) 222-9600 FAX (076) 222-9608
 京滋 ☎ (075) 582-9771 FAX (075) 582-9770
 神戸 ☎ (078) 222-6341 FAX (078) 222-6326
 岡山 ☎ (086) 243-1327 FAX (086) 243-7508
 高松 ☎ (087) 851-9588 FAX (087) 851-9592
 鹿児島 ☎ (099) 226-7511 FAX (099) 226-7515

☒...常設ショールーム

●各種お問い合わせ先

アイカ
コールセンター
TEL <052> 409-8313
FAX <052> 409-1482

●カタログ、サンプル帳のご請求先

アイカ
カタログセンター
TEL <052> 409-1471
FAX <052> 409-1526

●塗板見本のご請求先

アイカ
塗板センター
TEL <052> 409-8751
FAX <052> 409-7570